

# 教会の政治的ディアコニアの課題



そうま のぶお

## 相馬 伸郎 師

日本改革派キリスト教会 名古屋岩の上教会牧師

1960年 横須賀市生まれ

1988年 東京聖書学院卒業

名古屋市緑区で開拓的伝道に従事

1944年 単立名古屋岩の上教会として自給開拓

1999年 日本キリスト改革派教会に群れごと加入

大会教育委員会委員長、教会学校教案誌編集長

愛知県立芸術大学非常勤講師、のぞみセンター（宮城県）前理事長

### 【講師から一言】

教会とキリスト者の働きは、キリストの三つのお働き（預言者・祭司・王）に即して担われます。確かに、日本の教会は国家との関わりの中で祭司として祈り、預言者として反対や抗議の声明を公にしてまいりました。ただし、仕える王として政治によって弱く、小さくされた人々の隣人となる「ディアコニア（愛の働き）」についてはどうでしょうか。

名古屋岩の上教会は11年春、「ディアコニア支援室」を設置して被災地支援活動を継続しています。そして15年夏、「政治的ディアコニア室」を設置し、月に一度、戦争法（他）に反対する意思表示を路傍に立って表し、今では平和をつくる市民運動と深く連帯するまでに導かれました。一つの小さな教会の実践と何よりその信仰（神学）について、皆さまと語り合うことができれば幸いです。

2018年2月12日(月)

10時30分～

関西地区集会会場

生駒めぐみ教会

奈良県生駒市東松ヶ丘5-18

問合せ「教会と国家」委員会

070-5260-7980（正村）

